

「高志学」論文発表会を実施しました

令和5年3月15日（水）に「高志学」論文発表会を行いました。高志中学校では、3年生で8,000字の論文を書きあげていますが、発表会ではその内容をスライド等で、今後論文を作成する後輩に発表しました。

これまでは「福井を探究する」スタンスで積み重ねられてきた高志中学校の論文ですが、開学以来5年間一定の成果をあげられたと判断し、6期生からは「福井で探究する」ことを掲げて進めてきました。2年生の夏前に、自分の興味・関心をもとにテーマをしばり、「問い」を立て、3年生ではフィールドワークや文献調査によって検証してきました。「問い」が大きくなりすぎたり、福井ではフィールドワーク先をみつけることが難しかったりする課題もありましたが、多くの企業や行政の方、地域の方々に応援をいただき、探究し論文を作成することができました。

今回は10のゼミでそれぞれ選ばれたメンバーが、9つの会場に分かれ、「観光資源として空き家を有効に活用することはできるのか」「福井のキャラクターによってLGBTを知る人を増やす方法」「失敗を認め、成長していくための組織体質とはどのようなものか」「AIを発展させることによって福井の水産業をどう発展させることができるのか」「ICT・IoTで過疎化が進む福井県をより良くする」「8-クイーンゲームの必勝法を形式言語で表現する」など多様なテーマについて各自が一生懸命考察したことを発表しました。1・2年生からも多くの質問があり、充実した質疑応答がなされ、発表後は3年生たちの晴れ晴れとした達成感に溢れる笑顔が見られました。

3年生にとっては総決算となる大切な学びの発表の場でしたが、1・2年生にとっても1年後、2年後の学びのルートが認識できる貴重な研修となったようです。

